

な はな の 崎 物 語

第 101 号
令和3年12月1日
発行
茨城県古河市
名の崎会広報部会

絆を強める——名の崎会、第20地区区長会の力を結びなう！

第20地区地区長 永井 行男

少子高齢化社会の中で、地域コミュニティ機能低下や連帯意識の希薄化が懸念されています。隣に誰が住んでいるかわからない、顔が見えないなど地域で「顔見知り」の関係を築くことが難しい時代を迎えています。

社会生活を営むかぎり、人とのかかわりやつながりなしには生きていけません。地域の連帯感・帰属意識の高揚を図っていくことが喫緊の課題です。

一人一人の協力があってこそ、この地域での暮らしが、そして住み心地のよい地域が成り立っていきます。

名崎名の崎会の年間行事「名の崎まつり」「グラウンドゴルフ大会」「ファミリースポーツ大会」「自主防災訓練」「名崎サンタ宅急便」……は名崎地区の【つながり】【支えあい】の大切さを見つめる機会であり、それを思い起こさせてくれております。

学校外で老若男女、世代を超えたふれあい・体験の中で自立した社会人に育っていきます。子供の積極的な参加、それに伴う保護者の参加は住民間の絆を深め、地域活動を担う人材育成にもつながっています。

名の崎会が平成5年の設立から一貫して名崎における気配り、助け合いの良さを、そして他人とのかかわりによる温かさを教え続けておられることに敬意と感謝を申し上げます。

第20地区区長会も今後、福祉増進と交流促進、地域への愛着や関心を深める活動を地道に継続していきます。名の崎会その他さまざまな活動団体との連携・協力による情報の交換・共有、共通理解・共通実践が住みよい地域づくりに、地域の絆を強めることにつながるものと確信しております。



名の崎会会長 染野 則夫

錦秋の候、名崎地区の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より、名の崎会にご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナ、特にデルタ株が猛威を振るい緊急事態宣言が発出され、各種イベントの中止を余儀なくされました。

緊急事態宣言下、皆様は、不要不急の外出を制限・自粛され、不自由な忍耐生活を余儀なくされました。

9月半ばより顕著に減少傾向になり、また、ワクチン接種率も世界で8番まで巻き返しました。ちなみに、茨城県は、10月15日現在、1回目：75.27%、2回目：64.13%、65歳以上では、1回目92.05%、2回目：90.74%と接種希望者はほぼ接種を受けた状況です。

全国の64歳以下の2回接種率：49.65%であり、ワクチン接種を急がねばなりません。感染者減少は、ほかにも要因はあると思いますがワクチン効果が大きいと考えられます。

しかし、感染者が減少し、緊急事態宣言解除したとはいえ、このウイルスは、

- ① 変異し感染力が増加する。
- ② 空気感染である。
- ③ コロナ感染発症2日前から発症後7～10日程度他の人に感染させる可能性あり。
- ④ 全世界ではまだまだワクチン接種が進んでいない国が多い。
- ⑤ 決定的な治療薬がまだ出ていない（年内から来春3月くらいに承認の可能性あり普及はそれ以降）。

以上より、この年末に想定される第6波の山を低く抑えるために、『感染予防対策』

- ① マスクをする。
- ② 消毒・手洗い「目、鼻、口」を不用意に触らない。
- ③ 密（密集、密閉、密接）を避ける。
- ④ 部屋の換気。
- ⑤ 運動、食事（栄養）により免疫力を上げる。

自分を、家族を、地域を、守るため、新型コロナウイルスを受け付けない行動を共に心がけましょう！！

無症状者は最も危険でありまた副作用の可能性もあります。感染症は、災害です。世界でワクチン接種が進み、治療薬が出来るまで、何よりも「自分、家族」を守るため、少なくとも2年程度は覚悟をもって取り組みましょう！！

その先に、世界が安全安心となり、自由な活動が可能になります。皆様と名の崎会がイベントを通して共にふれあい喜びを分かち合える日を楽しみにしております。



「新たな時代に対応する力の獲得」

名崎小学校 校長 安達 和宏

9月の臨時休校中に感染拡大していた新型コロナも減少傾向が続き、ようやく子供たちが楽しみにしていた遠足等の行事を実施できるようになりました。

コロナ禍での対応を考え実施しながらの、学校では味わえない体験や友達と協働して課題を解決する経験は、今後子供たちが直面するであろう新たな課題に立ち向かうための力となります。多面的・多角的な見方・考え方を身に付けたなさキッズの将来が楽しみです。

「心の教育」

名崎小学校 教頭 荒井 幸枝

先日、本校で6年生対象に日本テレビ「マナー講座」でもお馴染みの江上いずみ先生の講演がありました。江上先生とは前任校で講演をしていただいたからの縁です。講演後、前任校の児童達の様子が内面から変わっていくのが分かりました。だからこそ、なさキッズの6年生にも経験させたいと思い、お願いしました。

講演後の児童の感想の一部を紹介します。

○「笑顔は1円もかからないおしゃれ」という言葉が印象に残りました。笑顔でいればそれだけでおしゃれであり、笑顔を心がけようと思いました。

○「ある人の一番が、他の人の一番になるとは限らない」という言葉。私も相手のことを考え、行動したいです。

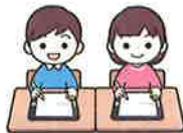
○「笑声」自分も心がけたいです。

日々、一步一步心身ともに成長しているなさキッズ379名全員の心の支えになればと職員一同思っています。

「Society5.0時代に必要な新たな学び」

三和東中学校 校長 山崎 英男

現在、学校では文部科学省のGIGAスクール構想により、生徒が1人1台端末（パソコン等）を使って、学校や家庭で個別最適化された学習ができるように進めているところです。三和東中でも、クロームブックというコンピュータを使い、1学期の授業や9月中のオンライン学習などで効果的に活用してきました。これからも生徒、先生ともにICT機器を活用した学習に積極的にチャレンジし、Society5.0時代に必要な力を磨いていけたらと考えています。



「地域から愛される学校を目指して」

三和東中学校 教頭 中嶋 智

現在、3年生は10月26～28日の東北方面への修学旅行に向けて事前学習を、1・2年生は部活動の新人戦に向けての練習に意欲的に取り組んでいます。

また、「withコロナ」の中、学校行事の見直しを図り、今年度の東輝祭は11月12日の午後に開催します。生徒会役員を中心に内容の検討を重ね、実りある文化祭になるように着々と準備しているところです。

「名の崎会」をはじめ地域の方々から益々、「愛される学校」になるよう職員一同、精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

名の崎会本部役員ごあいさつ

名の崎会 副会長 森 澄雄

名崎地区のみなさん、お元気ですか。コロナ禍という事で、名の崎会の事業が中止となりみなさんの顔が見られないのは残念ですが有りません。今の時期だと、ファミリースポーツ大会が開催され、小さな子供から・大人・ご年配のかた三代で、楽しく賑やかに汗を流した事を思い出します。

この大会では、子供達のストレス発散はもとより、大人の方の悩みなど年配の方のアドバイスを受けて、明日への活力に繋がるなど多くのご意見を伺っています。

早期にコロナが収束する事を願いつつ、皆さんとお会い出来る事を楽しみにしています。

名の崎会 副会長 大谷 正明

名の崎会副会長の大谷です。この副会長の職も今年で11年目に突入しております。最初から9年目までは右も左もわからないままスタートしましたので、只ただ、無我夢中であつという間の9年間だったように思います。しかしここ最近の2年間はコロナの影響でほとんど活動らしい活動はないため、名の崎会の時が止まっているように感じています。以前のようになれるかはわかりませんが、早くこの名崎地区に少しでも貢献できる日が訪れることを切に願っております。

名の崎会 書記 峯 照男

書記を務めている峯と申します。各種会議や事業の開催通知・回覧文の作成と発送、資料の作成などを主に担当しています。通知や資料などの作成にあたっては、できる限りわかりやすく、見やすいものにする事を心がけているつもりですが、いろいろと不備等もあると思いますので、何かお気づきの点がありましたら、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、名崎地区の皆さまの弥栄をお祈りいたします。

名の崎会 会計 中沢 昇

私は、コミュニティ関係に公私にわたり携わること20数年になります。

旧三和町は昭和50年代から平成7年頃にかけて、人口急増市町村として毎年1,000名を超える転入者がありました。人口急増とともに社会資本整備（学校・道路・下水道等）が間に合わない状況になり、また、新旧住民間の考え方の相違があり、あつれき等があったと思います。

そのような時期に、町ではふるさと創生事業を契機にコミュニティづくりを推進していこうと計画書づくりや話し合いをしながら、各学区にコミュニティ団体が設立されました。平成5年5月から名の崎会の活動が始まり、「ふれあい」「話し合い」「助け合い」を基本に大勢の方に参加していただきながら、様々な事業に取り組んできました。現在、古河地区内には、19のコミュニティ団体が設立され様々な活動をしておりますが、その中でも一番「名の崎会」が数多くの事業を展開していることを誇らしく思えます。それには、学区内の住民の方々の協力が必要不可欠であると思っております。

令和2年の新型コロナウイルスの影響により、名の崎会の行事がすべて中止になり令和3年も感染拡大が収まらないこともあり、行事が中止になっていることが非常に残念でなりません。今後、感染拡大が収まり、日常生活に戻れた時に、今まで築いてきたコミュニティ活動が従前のように再開できるか多少なりとも不安があります。

今後、ますます進むであろう少子高齢化、高齢者の一人暮らし、空き家対策や気候変動による防災対策など地域住民間で協力して助け合っていかななくてはならない問題が山積しております。コロナ収束後はコミュニティ活動が円滑に進むことを切に願っております。

名の崎会 書記補佐兼企画委員 石丸 政仁

出勤時、同じ時間、同じ場所で同じ光景を見かける。
 地域の子供たちの安全な通学のため、子供たちを見守る防犯パトロールの方です。日頃からの活動に感謝しております。私も微力ながら、地域の活動に尽力していきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

名の崎会 広報部会長 為我井佳子

名の崎会に、参加して、約20年近くになります。はじめは、生活部会、現在は広報部会として、でも、毎年1年生、どうしたらうまくいくのか、悪戦苦闘しています。
 ここ、2年近く、コロナ感染拡大の為、いろいろな行事が中止になり、『名の崎物語』の記事、資料集めに苦労しています。でも、染野会長をはじめ本部役員、15行政区の役員、学校、地域のみなさんに知恵を頂いて、『名の崎物語』の発行に頑張っています。コロナ感染拡大の早くの収束を願っています。
 来年こそは、すべての行事が無事クリアできますように。

名の崎会 企画委員長 阿久津信子

名の崎会企画委員長をさせていただいている阿久津です。名の崎まつりをはじめ、名崎小フェスタ、ファミリースポーツ大会等、いくつもの行事を毎年コミュニティの皆さんや子供達と協力しあい、楽しく進められていました。
 しかし、このコロナ禍の影響で、ほとんどできない状態をとっても残念に思います。コロナが早く収束し、お祭りやイベントで見せてくれる子供達の元気な姿やたくさんの笑顔が、「楽しい思い出づくり」として心に残る賑わいを待ち望んでいます。

各部会会員のごあいさつ

名の崎会 加下間行政区広報部会員 戸高 春司

私は平成26年3月に当時区長をされていた須藤正夫さんにたのまれて、名の崎会広報部会に入会しました。任期は2年と書いていたのですが4年となり6年となり今年で7年と7ヶ月となりました。振り返って見ると楽しい事もたくさんありました。平成27年の役員研修会で富岡製糸場を研修場所として見学してきました。帰りにこんにやく工場にもよって見学し昼食も食べました。

平成28年役員研修会ではマンズワイン勝沼工場見学→古寿園で昼食→山梨県防災安全センターで研修→桔梗屋一の宮店を見学しました。平成29年研修視察会では、アサヒビール神奈川工場の工場見学、アサヒビール神奈川足柄店で昼食、神奈川県総合防災センターで研修を受け、小田原の鈴廣かまぼこの里を見学楽しい思い出です。この年の9月なかばに栃木県野木町の乗馬クラブクレイン栃木で乗馬を始める事となりました。

今年でもう4年を過ぎます。乗馬代が高いので3年前から乗馬クラブでアルバイトをしています。クラブの休日は火曜日で水曜日が乗馬する日です。残りの5日はアルバイトです。名の崎会広報部会と充実した日々を送っています。

名の崎会 下内行政区広報部会員 鈴木日出夫

広報部会として、「名の崎物語」の記事がない。それは単に記事がないということではなく、地域のイベントが開催されていないことを意味する。新型コロナ拡大予防のため約2年間、名崎地区は名の崎まつり、グラウンドゴルフなど地元で根差してきた活動を自粛してきたが、それは地域活性や地元住民の交流の場を奪っていった。大げさに言えば地元経済にも多少なりとも影響を与えてしまった。今後は減少傾向にあるコロナがそのまま落ち着いて、住民の笑顔が戻り、「名の崎物語」が4ページで足らないという嬉しい悲鳴が上がる日を心待ちにしている。

お知らせ

この度、恩名下坪保全会の活動が、「第3回古河市景観賞」に応募し、多数の応募の中から「まちづくり活動部門」において、栄えある受賞を受けました。日頃の、地域の皆様のご理解、ご支援の賜と深く感謝するとともにお知らせ致します。

これからも皆様のご協力をいただきながら、地域の絆を次世代に継続できるよう、一人でも多く活動への参加をお願いいたします。

恩名下坪保全会 代表 峯 和夫



古河景観ふるまい賞 (まちづくり活動部門) 恩名下坪保全会

当地は南総土地改良区域内に位置し、田畑に育った作物を農家の家屋、その周辺の水辺や里山が一体となって美しい田園風景を形成しています。近年地域住民の高齢化、少子化が急激に進み従来より持つ居る多面的な機能を維持保全するコミュニティの活性化を向上する為、当会を発足しました。

活動内容は遊休農地の保全管理、農道の整備、排水路のドロ上げ、草刈り、地域の美化運動の一環としてのゴミ拾い、河川の水質検査、ポイ捨ての激しい県道沿遊休地を利用し50mにわたり花畑を造り、植栽、除草を定期的に行って居ります。

植栽は年2回、除草は3月より11月まで月1回日時を決め多数の会員の参加により実施し、4年目に入って居ります。共同作業をする事によりコミュニケーションが活発になり、この運動が確実に地域の活性化に寄与していると確信して居ります。

講評

普段目にして「美しい風景」がたくさんの人の手によって達成されているということ。そうした地道な活動はとても大事な事だと思えます。市民参加活動でコミュニケーションが活発になってきている点が高く評価できます。

活動開始時期から4年目とのこと、今後の世代に引き継がれる活動内容となることを期待します。

古河市 都市計画課





放送時間のご案内

◎**テレビ放送**
【テレビ体操】[Eテレ] (毎日) 午前6:25～ [総合] (月～金) 午後2:55～
【みんなの体操】[総合] (月～金) 午前9:55～

◎**ラジオ放送**
【ラジオ体操】[ラジオ第1] (毎日) 午前6:30～ [ラジオ第2] (月～土) 午後0:00～
【再放送】 [ラジオ第1] (毎日) 午前8:40～ [ラジオ第2] (月～土) 午後3:10～

1 ラジオ体操の効果

1 番は、『肩こり』『血行』『ゆがみ』に効く！

①簡単に誰でも出来る！ ②場所を選ばず、どこでもすぐに出来る！ ③リズムに合わせて軽快に楽しく出来る！

『筋肉』と『内臓』に効く！『脳』にも！

ラジオ体操第1、第2ともに、13の運動が組まれている。

※多くの筋肉を動かす『全身運動』です。→だから、体に良いんです！

『じわじわ効いてくる』運動（エクササイズ）！

◎第1と第2を合わせても、6分少々、準備体操を含めても10分です。

その短い時間に、400種類もの筋肉に影響を与える運動が出来るのです。→すごい！！

その中には、普段動かさない筋肉、関節、骨が多く含まれ、体のすみずみに刺激を与えることで人間が本来持っている体の機能を回復する効果が認められます。

もちろん、脳、内臓なども活性化させます。

◎毎日行っている人の中には、

①風邪を引きにくくなった！ ②血圧や血糖値が下がった！ ③肩こり・神経痛・腰痛の症状が軽くなった！

※やっぱり、3日坊主でなく長く続けることが一番です。

2 まとめ

○立って体操するのが不自由な人は、少しずつ慣らしながらが良いですね！

テレビでは、インストラクターが椅子に座って一緒に体操してくれます。

○ラジオよりテレビが良いですね。一人でも出来るし、一緒に体操ができます！

○録画しておくとも時間に拘らずいつでも好きな時に体操できます！

◎体操するうえで一番大事なことは、『姿勢正しく！！』『楽しんで！！』

◎次に、呼吸『息を吸って』『息を吐いて』をしっかり意識する！！

◎健康に一番いいのは、『長〜く続ける！！』『毎日が一番！！』です。



突然ですがちょっとひといき・・・

漢字を読もう！

① 鮪 ●●●	④ 鰯 ●●●●
② 鯉 ●●●	⑤ 鮎 ●●●
③ 鯉 ●●●●	⑥ 鮭 ●●●

449 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

加下間フラワーロード (県道23号筑西三和線沿道)

この部分には地元協力者の公告が入っています。